

第 41期決算公告

令和7年6月10日

東京都品川区東品川2丁目3番11号

株式会社 JTBガイアレック

代表取締役兼社長執行役員 小林美江子

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	4,771,617	流動負債	4,665,359
現金及び預金	5,641	営業未払金	3,373,913
営業未収金	478,746	未払金	152,005
棚卸資産	21,419	未払費用	77,157
営業前払金	1,433,776	未払法人税等	90,416
前払金	6,667	未払消費税等	43,451
前払費用	6,182	営業前受金	926,027
未収収益	9,345	預り金	2,387
短期貸付金	2,808,907		
未収金	682	固定負債	91,160
立替金	248	預り保証金	11,000
		退職給付引当金	75,190
固定資産	1,631,174	役員退職慰労引当金	4,970
有形固定資産	3,063		
建物附属設備	544	負 債 合 計	4,756,519
器具備品	2,519	純 資 産 の 部	
無形固定資産	9,293	株主資本	1,646,273
ソフトウェア	8,792	資本金	100,000
電話加入権	501	資本剰余金	228,740
投資その他の資産	1,618,817	資本準備金	103,740
長期貸付金	1,500,549	その他資本剰余金	125,000
差入保証金	42,885	利益剰余金	1,317,532
長期前払費用	643	利益準備金	25,000
繰延税金資産	74,527	その他利益剰余金	1,292,532
長期債権	14,560	別途積立金	452,000
その他	211	繰越利益剰余金	840,532
貸倒引当金	△ 14,560	(うち当期純利益)	(576,877)
		純 資 産 合 計	1,646,273
資 産 合 計	6,402,792	負債・純資産合計	6,402,792

個 別 注 記 表

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等 移動平均法による原価法を適用しております。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を適用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産・・・・・・・・定率法を適用しております。

ただし 2016 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物は、定額法を適用しております。

(2) 無形固定資産・・・・・・・・定額法を適用しております。

なお、ソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5 年）に基づく定額法を適用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金・・・・・・・・売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金・・・・・・・・従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（自己都合退職金要支給額）を計上しております。

(3) 役員退職慰労引当金・・・・・・役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4. 重要な収益及び費用の計上基準

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日）等を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

募集型・受注型企画旅行等の旅行事業については、旅行期間内で旅程管理という履行義務が充足されると判断していることから、旅行代金を対価として、旅行期間にわたり収益を認識しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

グループ通算制度・・・・・・・・グループ通算制度を適用しております。